

脱炭素等に向けた金融機関等の取組みに関する検討会報告書①

概要

- 脱炭素への移行に向けた世界的な取組みが加速する中で、企業と対話を通じて資金供給を行う金融機関の役割が高まっている。一方で、金融機関が脱炭素に向けた戦略を検討し、企業と対話を通じて実務的課題や留意点等は国際的にも模索の途上。金融庁の検討会で昨秋より議論を行い、6月22日、検討会としての報告書を取りまとめ・公表。
- 報告書では、脱炭素への移行には、金融機関における継続的・実効的な対話（エンゲージメント）が重要である点を指摘し、移行の戦略と進捗を理解・促進する観点から、以下を金融機関への提言（ガイド）として提示

脱炭素等の企業支援を行う金融機関への提言（ガイド）

金融機関の移行のとらえ方 ガイド1

- ・移行は中長期に及ぶもので事業上の影響が大きく、進捗状況の理解が必要
- ・一方、画一的な指標ではなく、現在一般的な「排出量×投融資量」（ファイナンス・エミッション）のほか、様々な定量・定性的指標を併せて総合的に捉えるべき



金融機関の投資家・
ステークホルダー

アジア諸国向けの投融資拡大/ トランジションファイナンスの促進 ガイド4

- ・GXは全世界で取組むことが必要なながら、アジアは地理的・経済的な特殊事情も多く、資金が足りていない。日本の経験を生かす余地も存在
- ・アジア向け投融資によるファイナンス・エミッションの増減を丁寧に説明しつつ、多排出設備の置き換えや早期廃止を進めていくことが重要。カーボンクレジット創出も一案



働きかけ



金融機関

連携

エンゲージメント



企業

GHG排出量データの整備 ガイド2

- ・排出量データは企業だけでなく取引先も含めて集約が必要
- ・現在は排出量データの様式やプラットフォームが統一されておらず、共通プラットフォームの整備も検討が必要

リスクマネーの供給 ガイド5

- ・GXには、融資だけでなく個人投資を含む投資資金の誘導も重要
- ・現在は選択肢が限定的であり、官民の協調によるブレンデッドファイナンス、資本性のあるESG商品、ESG投資信託、脱炭素目標からのインパクト投資等を普及していくことが重要

地域の脱炭素促進

- ・GXの実現には、大企業だけでなくサプライチェーンを成す地域全体での取組みも必須だが、地域企業では相対的に取組みに遅れ
- ・啓発セミナー、支援策の紹介、地域金融機関の人材育成の支援等が必要

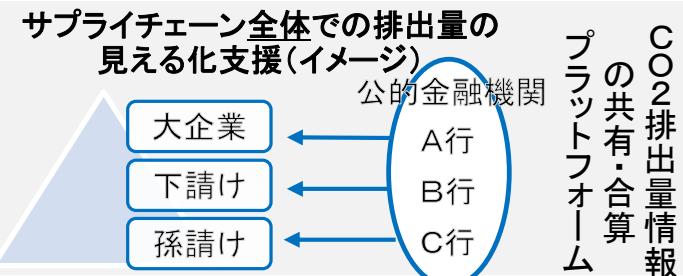
脱炭素等に向けた金融機関等の取組みに関する検討会報告書②

金融機関等の脱炭素を促す環境整備に向けた政府等への提言

- 本報告書は、金融機関による企業への働きかけを中心としているものの、こうした支援には、政府等による後押しや連携、情報発信等が不可欠。そのため、金融機関への提言だけでなく、関連地方支分部局も含めた政府等への提言を併せて提示

CO₂排出量のデータ整備に関する取組み（ガイド2）

- サプライチェーン・ファイナンスも活用した金融機関による「見える化」の促進
- データの標準化、共通化やプラットフォームの構築、様式の統一
- グローバルな連携、企業データの充実



トランジションファイナンスの推進・環境整備（ガイド3、4）

- 分野別技術ロードマップの充実
(国際的な認知向上、排出量の試算等)
- アジアにおける脱炭素の取組みの拡大
 - ・金融機関や事業会社等が情報・課題を共有する場の設置
 - ・多排出設備の除却に伴うカーボンクレジットの発行にかかる検討
- グローバル化を踏まえたカーボンバジェットの状況把握・管理

リスクマネーの供給に向けた取組み（ガイド5）

- リスクマネー供給に向けた金融商品の多様化
 - ・グリーンやトランジションに資する優先株や劣後債の発行促進
 - ・ESG投信の普及に向けた検討
- 脱炭素目線からのインパクト投資の推進
- ブレンデッドファイナンスの推進



地域の中小・中堅企業における脱炭素の促進（第7章）

- 財務局等におけるセミナーの開催
(中小・中堅企業への浸透や地域金融機関同士の連携)
- 地域金融機関を通じた支援策の普及
 - ・カーボンニュートラルに関する施策集の作成
 - ・地域金融機関への説明会の開催等も通じた情報提供の充実